

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

## ● 「ニホンジカの現状と今後の獣害対策勉強会」を開催しました

ニホンジカについては、有害鳥獣駆除などによりその頭数はピーク時よりも減少していますが、依然として植栽木への被害は発生しており、林業関係者はその対策に大変苦慮しているところです。

このため、令和4年8月3日（水）、森林文化アカデミーにおいてニホンジカの生息・捕獲の状況や、その被害対策に関する勉強会を開催したところ、12人が参加しました。

### ○岐阜県におけるニホンジカの現状と今後の獣害対策

（岐阜県環境生活政策課 石原生物多様性企画監）

<主な内容>

- ・ 第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）に基づき捕獲を強化した結果、推定個体数は約115千頭（H26）から約71千頭（R1）まで減少した（ベイズ推定手法による）。
- ・ 併せて林業被害も829ha（H29）から115ha（R2）まで減少した。

### ○ニホンジカの生態と被害対策

（森林総合研究所関西支所 八代田主任研究員）

<主な内容>

- ・ 野生動物による被害対策は、物理的防除、個体数管理そして生息地管理が重要。
- ・ 適正規模まで頭数を減らしても、狩猟を止めればすぐに回復するため、継続的な狩猟が必要。
- ・ 集中捕獲（過密状態から適正規模まで）はハンターが実施し、その後の継続的な捕獲（適正規模の維持）は林業事業体による実施を検討すべき。

また、シカの駆除にあたり捕獲場所から車両までの運搬が課題となっていることから、森林総合研究所は3種類の運搬機材を開発し、そのうち2種類の機材について直接触れることができました。

### ①電動クローラ型一輪運搬車

一輪車にモーターを搭載したもので、最大積載量は80kg、走行可能斜度35度。

コンテナ苗など造林資材の運搬のほか、付属する電動オーガによる植穴の掘削も可能。

令和4年秋以降、茨城県森林組合連合会より販売予定。

▼裏面へ続く



石原生物多様性企画監による講義



八代田主任研究員による講義



電動クローラ型一輪運搬車による運搬デモ

## ②携帯型電動ウインチ

背負子に簡易なウインチ（約10kg）を搭載したもので、10～15mの範囲でけん引が可能。



携帯型電動ウインチによる運搬デモ



携帯型電動ウインチ

## ●会員と森林文化アカデミー学生とのマッチング（企業説明会）を開催しています

会員の技術者確保、森林文化アカデミー学生の就業機会の確保を図るため、企業説明会（合同・個別）を実施しています。令和3年度は、卒業生のうち16人（エンジニア科15人、クリエイター科1人）が会員に就職しており、企業説明会は技術者の確保につなげる貴重な機会となっています。今回は、その内容についてご紹介します。

### <合同企業説明会（キャリアデザイン）>

森林文化アカデミーのエンジニア科（1年、2年）等を対象とした合同企業説明会です。令和4年度は4月から6月に3回開催し、会員26者にご参加いただきました。なお、今年度の計画は全て終了しました。



キャリアデザイン開催状況

### <個別企業説明会（キャリアカフェ）>

経営者と希望する学生との個別企業説明会で、対面・少人数で話し合うことで、お互いを知り、マッチングにつなげる機会となっています。令和4年度は全6回の予定で、これまで1回開催しました。

なお、キャリアカフェについては、随時、参加会員を受け付けています。希望される場合は、お気軽に事務局へご連絡願います。但し、特別会員、一般会員のみとさせていただきます。



キャリアカフェ開催状況

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）  
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529  
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp